

平成30年度 公の施設目標管理型評価書【旧小澤家住宅】

施設名	新潟市文化財旧小澤家住宅		
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区上大川前通12番町2733番地		
根拠法令	文化財保護法		
設置条例	新潟市文化財旧小澤家住宅条例		
施設概要	敷地面積 1,626.44㎡ 施設 木造2階建て 延床面積867.03㎡ 離れ座敷, 道具蔵, 次ノ間, 寢間, 藤ノ間, 座敷, 仏間, 茶ノ間, 百合ノ間, 情報案内所, 2階座敷他 庭園		

施設設置目的
<p>旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとして発展してきた本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報を広く提供するとともに、それらを通じて市民相互の交流を推進し、市民文化の向上及び地域の活性化に寄与することを目的として設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1. 基本理念 「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するための各種事業を行う。 施設の運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する年度協定」に従い、かつ各関連法規を遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。</p> <p>2. 活動方針</p> <p>①みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。</p> <p>②市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。</p> <p>③歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。</p> <p>④文化財を保存・活用する。</p> <p>⑤新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。</p> <p>⑥観光施設としての役割を担う。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	年間入館者数	年間入館者数1万6千人以上	17,576人	A	指標を上回る入館者数であった。
	企画展を年8本以上実施	企画展を年8本以上実施	10本実施	A	小澤家の風合いに合うよう創意工夫を凝らしたイベントを実施した。
	教育普及事業の実施	歴史に関する講座等を年10回以上実施	庭園講習会2回、惑星を見る会、宿泊体験、シティガイド移動講座、ふろしき講座、北前船と民謡講座、日本酒講座6回（全13回）	A	指標を上回る回数実施した。
		体験プログラムを年12回以上実施	落語会2回、漆器製作体験6回、仏壇ワークショップ3回、生紙体験3回、からくり人形実演8回、フラワーアレンジメント体験2回、ひな人形作り、正月飾り（全14回）	A	伝統工芸の魅力を知る上で体験プログラムは重要であり、今後も次世代へ継承していくための企画を行ってほしい。
	学校との連携	小中学校の団体を年2回以上受け入れる	小学校3回 中学校10回 （全13回） また、学校の校外授業の際、休憩場所として情報案内所を提供した。	A	総合学習の要望に応え、積極的な受け入れを行った。
	歴史文化事業の情報発信	ホームページを月2回以上、ツイッターを週2回以上更新し、情報発信を行う	HP更新35回 Twitterは200回以上更新した。	A	ホームページだけでなく、ツイッターの更新もこまめに行なった。
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「大変良かった」「まあ良かった」が70%以上	92%	A	来館者に対するきめ細やかな対応が高評価に繋がった。今後も顧客ニーズを把握し、親切的な対応を心掛けてほしい。
	市民からの問合せに対する対応	質問・問合せには速やかに対応	すぐに答えられる質問には即時回答した。 回答に時間を要する質問・問い合わせは特になかった。	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	苦情・要望に対しては、即時回答した。	A	指標を上回る対応であった。
	ボランティア事業	ボランティア会員の活動日数を年100日以上実施	年間114日（ガイド数1,871） 勉強会を開き、ボランティアガイド企画として「小澤家とみなと」展を開催した。	A	指標を上回る回数実施した。
財 務	管理経費の縮減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	協定額31,743,000円 決算額30,942,446円	A	経費の削減に努め、協定額以下に納めた。
	市の歳入確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合70%以上	284%	A	指標を上回る割合となった。

業 務	他施設との連携	他施設等との連携事業を年10回以上実施	「屏風」展（新潟市歴史博物館）、「東日本大震災と海のゴミ」展（一般社団法人JEAN）、「新潟漆器」展（新潟市漆器同業組合）、「旅するふろしき」展（ふろしきや）、「第7回新潟仏壇工芸」展（新潟仏壇組合・越後生紙協会）、「ひな人形とからくり人形」展（新潟ハイカラ文庫）、「惑星を見る会」（NPO法人みかわ天文台）、「旧小澤家住宅に泊まろう！」（教育委員会）、「にじいろカフェ」（新潟シティガイド）、「からくり人形実演会」（越後大郷からくり館）、「フラワーアレンジメント体験（水曜日のお花の会）」、「春の酒づくし」（BarBookBox、吉川酒店、新潟長谷川屋）、「稲わらによる製作体験（新潟アグリクラブ）」、「山野草の展示」（花や木下）、「煎茶会」（旧小澤家活用実行委員会）、「フレッシュ本町まつり」（下本町商店会）、「小澤家ごっつおランチ」（旧小澤家活用実行委員会）、「旧小澤家住宅周辺の調査・研究」（旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会）（全18回）	A	各種団体・施設と連携し、指標を大幅に上回る回数実施した。常設の展示品のみでは集客に限界があるため、積極的に連携を図ってほしい。
	日常連絡の適切さ	3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	それぞれ7月20日、10月20日、1月20日、翌年度4月20日までに提出した。	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	防火管理者による消防訓練を1回、防災訓練を1回実施した。	B	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定等に基づく適正な管理の実施	文化財の適正な管理に努めた。	B	
	歴史資料の適正な管理	施設内での虫干し等を年1回以上実施	市販殺虫剤による館内消毒を1回実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	1回実施	B	
		施設設備関係の各種法定点検の確実実施	防災設備を2回点検した。	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	連絡体制の確立	職員・再委託業者の連絡網を作成し、閉館時の有事に備えて近隣の住民にも職員の連絡先を教えた。	A	新たに、委託業者連絡網作成も行った。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	協定等に基づき、適正な管理運営を行った。	B	
人 材	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年2回以上実施	消費税研修の実施	C	今後は年2回以上の職員研修を実施してほしい。
	接遇マナーの維持・向上	接遇研修を年1回以上実施	みなとぴあとの受付職員交代研修を月に1回実施	A	研修実施によりマナーをもって対応できるよう努めた。

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

平成30年度は天候も荒れず、目標入館者数を達成することができた。
また、新潟市域の歴史・文化の魅力を市内外に広めることを目標に、企画展や講座、体験プログラムを多数実施し、近隣の博物館をはじめ、多くの施設や団体と連携を図っている。
ボランティアも熱心に活動しており、ボランティアガイドによる企画展は今回で6回目となった。
新潟市の貴重な文化財を管理しているという意識を常に持ち、来館者の安全にも心を配りながら、みなと町新潟の町家の生活を感じられる施設として、活用も積極的に行っている。
また、庭園管理の面では、寄贈前から当庭園の管理に携わっている委託業者と意見交換を図り、きめ細かい管理運営を行っている。
今後は職員の教育にも力を入れていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

平成30年度は開港150周年であり、旧小澤家住宅独自の魅力を活かして例年以上の集客に努めたことで目標入館者数を達成している。近隣の学校・団体等と連携した事業を目標回数以上実施し、市民に対する積極的な情報発信・教育の普及に寄与できたと言える。地域に根付いた施設であり、地元団体からは安定した利用があるので、今後もPRを強化するなどし市内外の新規来場者の獲得につなげてほしい。
また、来館者アンケートでは毎年高評価を得ており、きめ細やかな対応が根付いていることが伺える。
今年度もみなとまち新潟の基盤を築いた商家として魅力を十分に発揮し、引き続き企画展事業等に創意工夫をこらして、市民文化の向上及び地域の活性化に貢献してほしい。

評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。